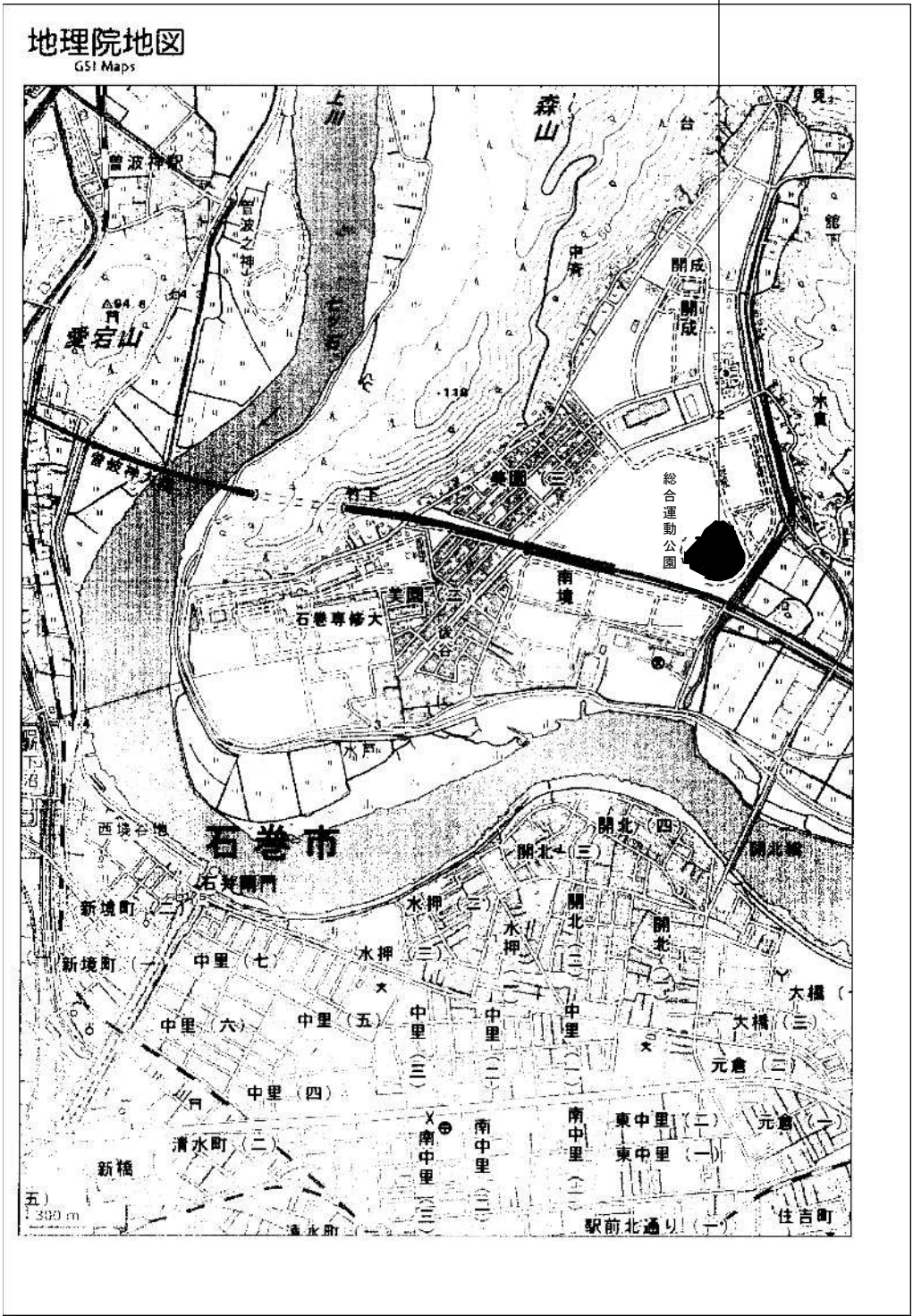


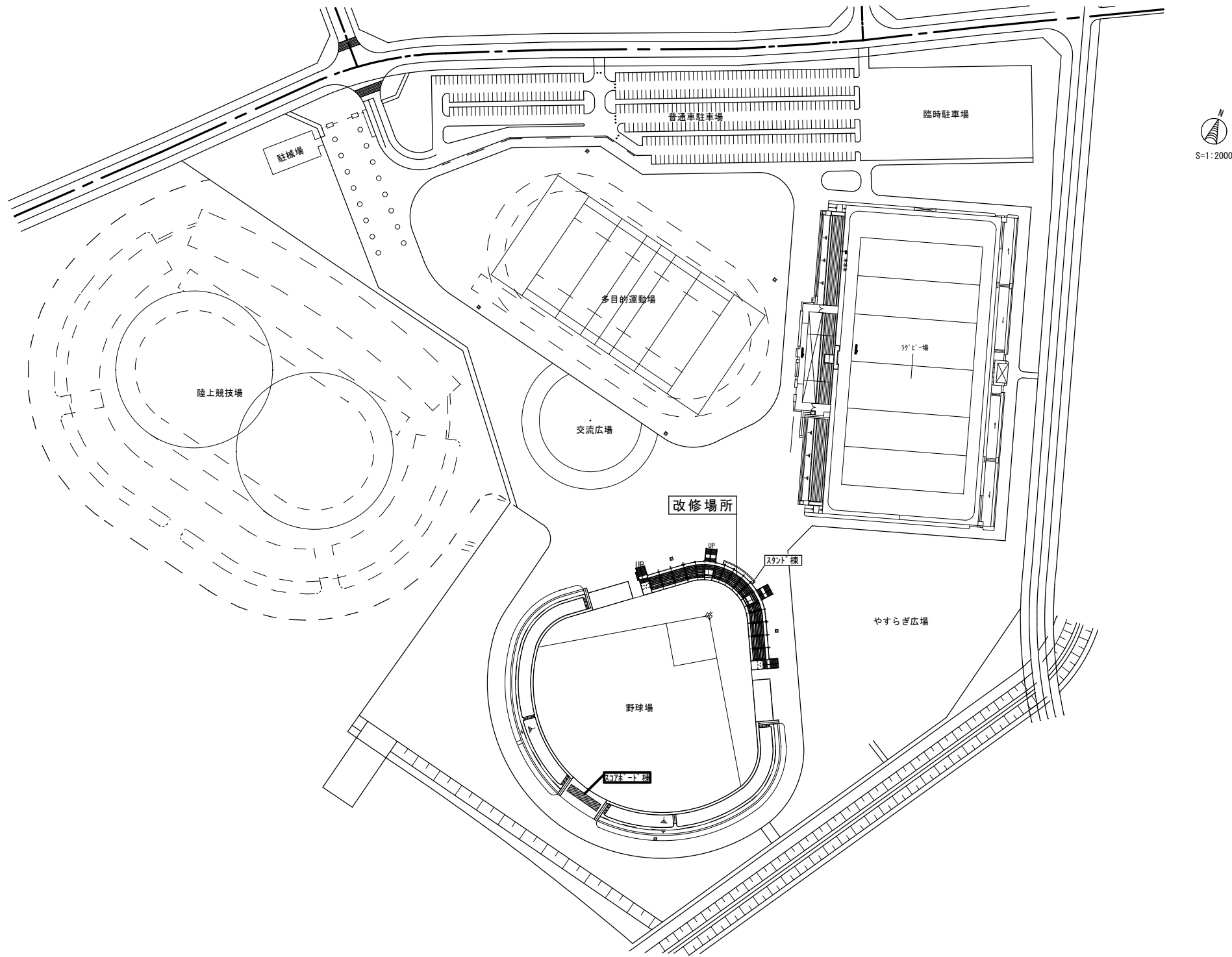
セイホクパーク石巻市民球場空調設備改修工事

図面リスト					
図面	図面名称（機械設備）	図面	図面名称（電気設備）	図面	図面名称（建築）
M-0	図面リスト	E-1	電気設備工事特記仕様書	A-1	建築改修工事特記仕様書（１）
M-1	案内図及び全体配置図	E-2	既設照明器具姿図	A-2	建築改修工事特記仕様書（２）
M-2	建物概要書及び配置図	E-3	天井伏図 照明器具その他機器位置図	A-3	建築改修工事特記仕様書（３）
M-3	機械設備改修工事特記仕様書	E-4	既設電灯分電盤結線図	A-4	建築改修工事特記仕様書（４）
M-4	空調設備新設機器表	E-5	動力幹線設備改修図	A-5	建築物解体工事特記仕様書
M-5	空調設備1階平面図（改修図）			A-6	内部仕上表
M-6	空調計装設備1階平面図（改修図）			A-7	天井解体範囲図
M-7	空調設備撤去機器表			A-8	天井復旧図
M-8	空調設備1階平面図（撤去図）			A-9	矩形図（参考図）
M-9	空調計装設備1階平面図（撤去図）			A-10	仮設計画図

工事場所：石巻市南境字新小堤18



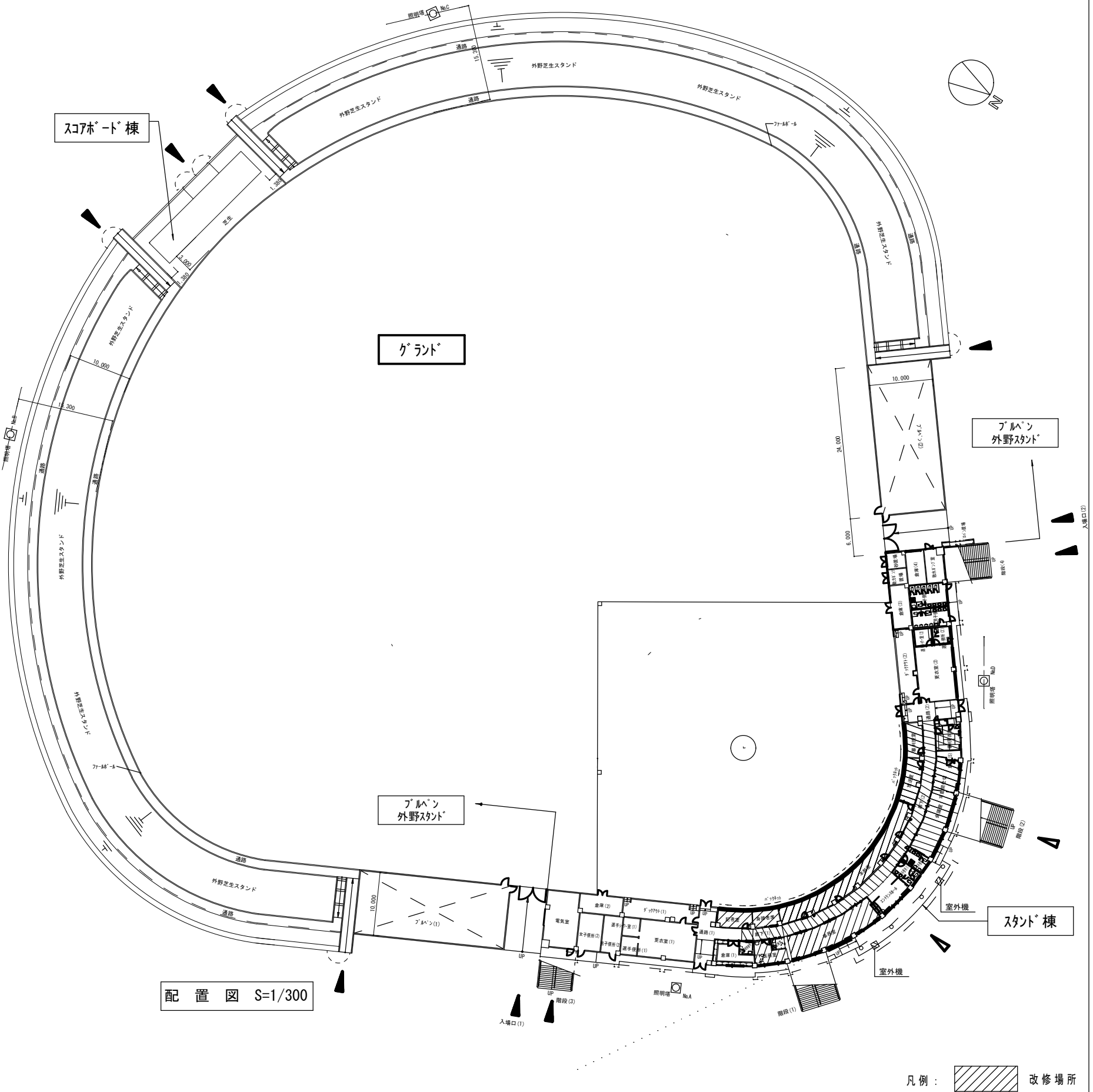
案内図



全体配置図 S=1/1500

		株式会社 信栄建設	石巻市建設部建築課	工事名	セイホクパーク石巻市民球場空調設備改修工事		備考		図面番号 M-1
		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第22X10153号		図面名	案内図及び全体配置図	縮尺			
		管理建築士 白出正広 一級建築士 第200310号		設計年月日	令和7年8月				

建 物 概 要	
工事名	セイホクパーク石巻市民球場空調設備改修工事
工事場所	石巻市南境字新小堤18
建物概要	構造 鉄筋コンクリート造2階建て
	延べ床面積 2,230.96 m ²
	敷地面積 8,843.14 m ²
付帯設備工事	a. 建築改修工事 b. 電気設備改修工事



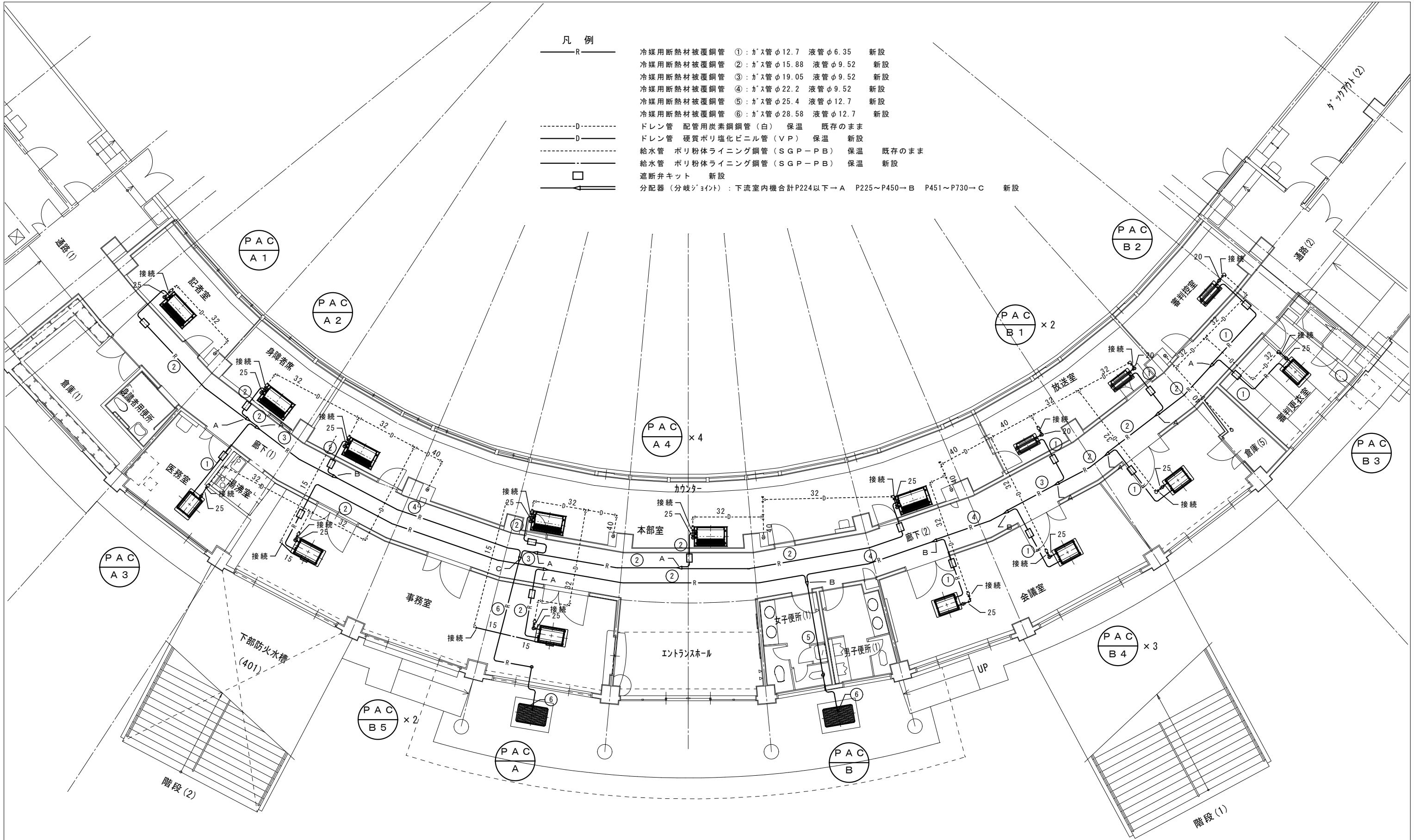
		株式会社 信 栄 建 設	石 巻 市 建 設 部 建 築 課	工 事 名	セイホクパーク石巻市民球場空調設備改修工事			備 考	図面番号 M-2
		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第22X10153号		図 面 名	建物概要及び配置図	縮尺	S=1/300		
		管理建築士 白出正広 一級建築士 第200310号		設計年月日	令和7年8月				

新設機器表

記 号	機 器 名 称	仕 様 ・ 能 力 ・ 参 考 寸 法 等	電 源	消費電力	圧縮機	送風機	付 属 品 等	台 数	備 考
PAC-A	ビルマルチパッケージエアコン 室外機	冷暖切替 高効率E×形 冷房能力 45.0kW 暖房能力 50.0kW 冷媒R32 耐塩仕様 本体参考寸法：1207W×740D×1798H 重量：310kg	3φ-200V	冷房13.7kW 暖房13.3kW	11.1kW	0.77kW	接着系あと施工アンカーM12×4、防振架台 アクティブフィルター	1	設置スペース 冷媒補充7.3kg
PAC-A1	ビルマルチパッケージエアコン 室内機	天井カセット1方向吹出 冷房能力 7.1kW 暖房能力 8.0kW 本体参考寸法：1112W×724D×225H 重量：28kg パネル参考寸法：1340W×800D×20H 重量：6.5kg	1φ-200V	冷房0.1kW 暖房0.09kW		0.095kW	標準化粧パネル、ドレンアップメカ、ワイヤードリモコン フロンガス警報器 冷媒管接続部ねじ接続接手使用	1	記者室
PAC-A2	ビルマルチパッケージエアコン 室内機	天井カセット1方向吹出 冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.3kW 本体参考寸法：1112W×724D×225H 重量：26kg パネル参考寸法：1340W×800D×20H 重量：6.5kg	1φ-200V	冷房0.08kW 暖房0.07kW		0.09kW	標準化粧パネル、ドレンアップメカ、ワイヤードリモコン フロンガス警報器 冷媒管接続部ねじ接続接手使用	1	身障者席
PAC-A3	ビルマルチパッケージエアコン 室内機	天井カセット2方向吹出 冷房能力 4.5kW 暖房能力 5.0kW フロンガス警報器内蔵 本体参考寸法：770W×650D×290H 重量：21kg パネル参考寸法：1080W×710D×20H 重量：7kg	1φ-200V	冷房0.04kW 暖房0.04kW		0.05kW	標準化粧パネル、ドレンアップメカ、ワイヤードリモコン 冷媒管接続部ねじ接続接手使用	1	医務室
PAC-A4	ビルマルチパッケージエアコン 室内機	天井カセット1方向吹出 冷房能力 7.1kW 暖房能力 8.0kW 本体参考寸法：1112W×724D×225H 重量：28kg パネル参考寸法：1340W×800D×20H 重量：6.5kg	1φ-200V	冷房0.1kW 暖房0.09kW		0.095kW	標準化粧パネル、ドレンアップメカ、ワイヤードリモコン フロンガス警報器 冷媒管接続部ねじ接続接手使用	4	本部席
PAC-B	ビルマルチパッケージエアコン 室外機	冷暖切替 高効率E×形 冷房能力 45.0kW 暖房能力 50.0kW 冷媒R32 耐塩仕様 本体参考寸法：1207W×740D×1798H 重量：310kg	3φ-200V	冷房13.7kW 暖房13.3kW	11.1kW	0.77kW	接着系あと施工アンカーM12×4、防振架台 アクティブフィルター	1	設置スペース 冷媒補充7.3kg
PAC-B1	ビルマルチパッケージエアコン 室内機	天井カセット1方向吹出 冷房能力 2.8kW 暖房能力 3.2kW 本体参考寸法：812W×395D×230H 重量：15kg パネル参考寸法：1000W×470D×30H 重量：3kg	1φ-200V	冷房0.037kW 暖房0.037kW		0.028kW	標準化粧パネル、ドレンアップメカ、ワイヤードリモコン フロンガス警報器 冷媒管接続部ねじ接続接手使用	2	放送室
PAC-B2	ビルマルチパッケージエアコン 室内機	天井カセット1方向吹出 冷房能力 4.5kW 暖房能力 5.0kW 本体参考寸法：812W×395D×230H 重量：15kg パネル参考寸法：1000W×470D×30H 重量：3kg	1φ-200V	冷房0.045kW 暖房0.045kW		0.028kW	標準化粧パネル、ドレンアップメカ、ワイヤードリモコン フロンガス警報器 冷媒管接続部ねじ接続接手使用	1	審判控室
PAC-B3	ビルマルチパッケージエアコン 室内機	天井カセット2方向吹出 冷房能力 3.6kW 暖房能力 4.0kW フロンガス警報器内蔵 本体参考寸法：770W×650D×290H 重量：21kg パネル参考寸法：1080W×710D×20H 重量：7kg	1φ-200V	冷房0.03kW 暖房0.03kW		0.05kW	標準化粧パネル、ドレンアップメカ、ワイヤードリモコン 冷媒管接続部ねじ接続接手使用	1	審判更衣室
PAC-B4	ビルマルチパッケージエアコン 室内機	天井カセット2方向吹出 冷房能力 4.5kW 暖房能力 5.0kW フロンガス警報器内蔵 本体参考寸法：770W×650D×290H 重量：21kg パネル参考寸法：1080W×710D×20H 重量：7kg	1φ-200V	冷房0.04kW 暖房0.04kW		0.05kW	標準化粧パネル、ドレンアップメカ、ワイヤードリモコン 冷媒管接続部ねじ接続接手使用	3	会議室
PAC-B5	ビルマルチパッケージエアコン 室内機	天井カセット2方向吹出 冷房能力 7.1kW 暖房能力 8.0kW フロンガス警報器内蔵 本体参考寸法：940W×650D×290H 重量：26kg パネル参考寸法：1250W×710D×20H 重量：8kg	1φ-200V	冷房0.07kW 暖房0.07kW		0.05kW	標準化粧パネル、ドレンアップメカ、ワイヤードリモコン 冷媒管接続部ねじ接続接手使用 直付加湿器15A×7L/H×8W（バルブ、ストレーナ付）	2	事務室
	システムコントローラー （集中コントローラー）	液晶画面 最大400台室内機制御 冷媒R32漏えい警報機能搭載	1φ-100V	22W			壁面外付ボックス	1	事務室
	遮断弁キット	接続冷媒管サイズφ15.88（ろう付け接続） 本体参考寸法：324W×220D×198H 重量：5kg	1φ-200V	1.0W				16	

※注記：室外機について
グリーン購入法調達基準適合商品及び2015年省エネ基準値クリア商品
電気特性の電流値が20Aを超える空調機は「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波制御対策ガイドライン」対象機器とする。

冷媒ガス（R32）充填量算定	分岐部間の配管サイズ：冷房16kW以下→液φ9.52、ガスφ15.88 冷房16.1kW～22.4kW→液φ9.52、ガスφ19.05 冷房22.5kW～33.5kW→液φ9.52、ガスφ22.2 冷房33.6kW～45.0kW→液φ12.7、ガスφ25.4 冷房45.1kW～73.0kW→液φ15.88、ガスφ28.58
P A C－A 系統	液管φ12.7→8.5m×0.11＝1.0kg 液管φ9.52→20.8m＋2.3m＋2.3m＋17.7m＋2.4m＋3.9m×0.054＝2.7kg 液管φ6.35→3.8m×0.02＝0.1kg 室内ユニット合計MP456→3.5kg 充填分7.3kg 室外ユニット封入量6.1kg－－－－総冷媒量13.4kg
P A C－B 系統	液管φ12.7→6.5m×0.11＝0.8kg 液管φ9.52→24.2m＋3.7m＋19.1m×0.054＝2.5kg 液管φ6.35→4.0m＋4.2m＋2.7m＋4.0m＋2.8m＋3.7m＋3.1m×0.02＝0.5kg 室内ユニット合計MP414→3.5kg 充填分7.3kg 室外ユニット封入量6.1kg－－－－総冷媒量13.4kg



1 階平面図 S=1/100

		株式会社 信 栄 建 設	石 巻 市 建 設 部 建 築 課	工 事 名	セイホクパーク石巻市民球場空調設備改修工事			備 考	図面番号 M-5
		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第22X10153号		図 面 名	空調設備1階平面図（改修図）	縮尺	S=1/100		
		管理建築士 白出正広 一級建築士 第200310号		設計年月日	令和7年8月				

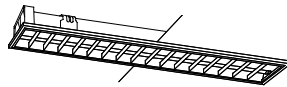
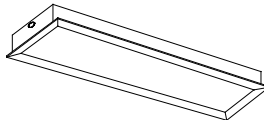
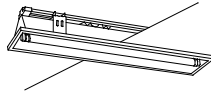
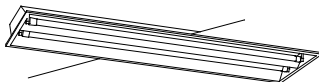
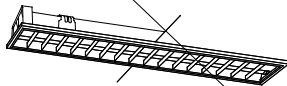
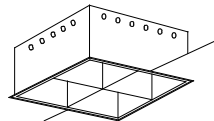
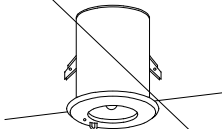

撤去機器表

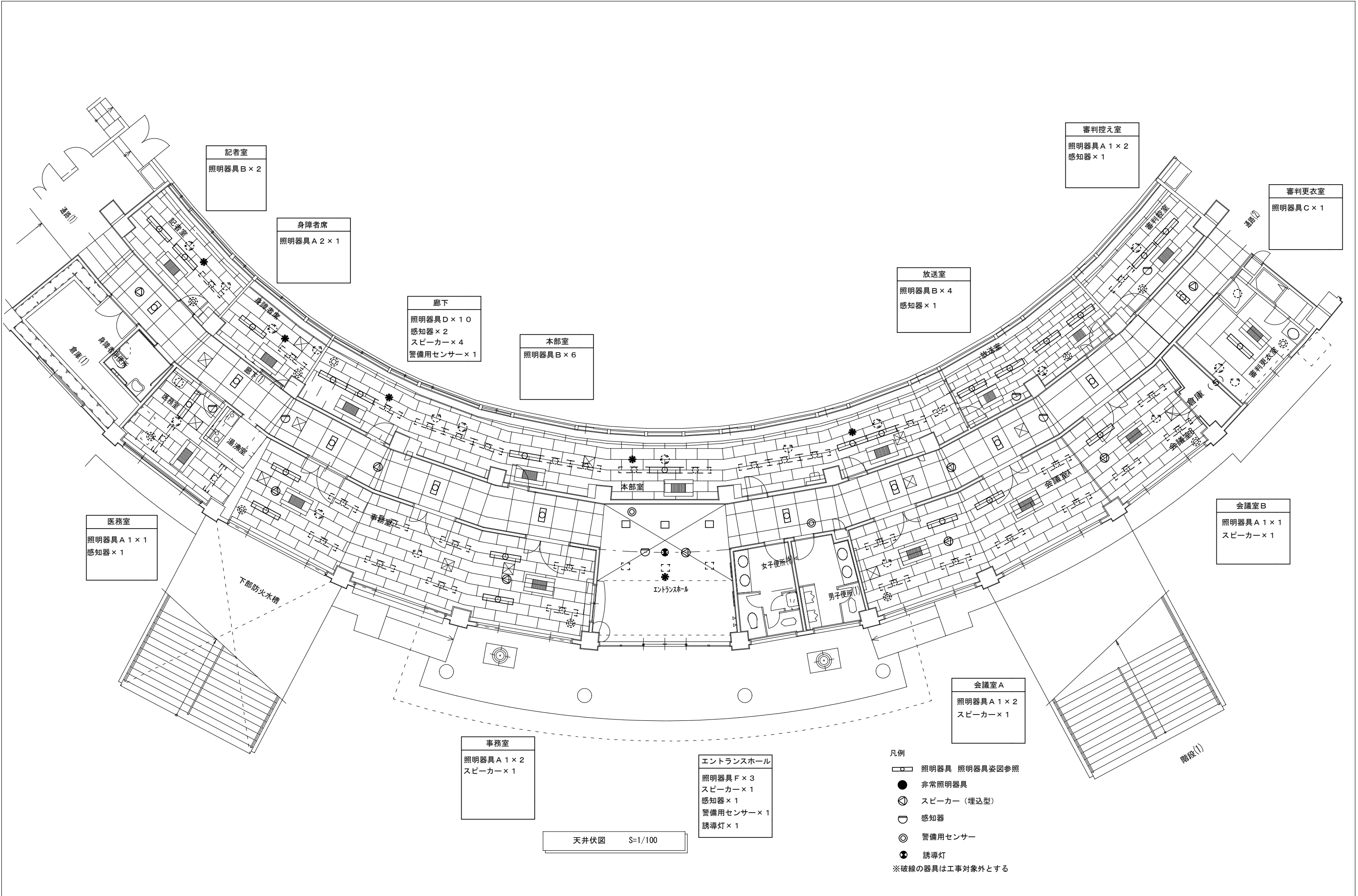
記 号	機 器 名 称	仕 様 ・ 能 力 ・ 参 考 寸 法 等	電 源	消費電力	圧縮機	送風機	付 属 品 等	台 数	備 考
PAC-A	ビルマルチパッケージエアコン 室外機	冷暖切替 冷房能力 35.5kW 暖房能力 40.0kW 冷媒R407C 耐塩仕様 本体参考寸法：1290W×840D×1715H 重量：283kg	3φ-200V	冷房13.88kW 暖房13.0kW	9.25kW	0.35kW	防振架台	1	設置スペース
PAC-A1	ビルマルチパッケージエアコン 室内機	天井カセット1方向吹出 冷房能力 4.5kW 暖房能力 5.0kW 本体参考寸法：940W×610D×198H 重量：28kg パネル参考寸法：1190W×690D×10H 重量：5.5kg	1φ-200V	冷房0.09kW 暖房0.09kW		0.04kW	標準化粧パネル、ドレンアップメカ、ワイヤードリモコン	2	記者室、身障者席
PAC-A2	ビルマルチパッケージエアコン 室内機	天井カセット2方向吹出 冷房能力 4.5kW 暖房能力 5.0kW 本体参考寸法：1008W×606D×338H 重量：33.5kg パネル参考寸法：1300W×670D×8H 重量：8kg	1φ-200V	冷房0.16kW 暖房0.15kW		0.085kW	天井材組込パネル、ドレンアップメカ、ワイヤードリモコン	1	医務室
PAC-A3	ビルマルチパッケージエアコン 室内機	天井カセット1方向吹出 冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.3kW 本体参考寸法：940W×610D×198H 重量：28kg パネル参考寸法：1190W×690D×10H 重量：5.5kg	1φ-200V	冷房0.09kW 暖房0.09kW		0.05kW	標準化粧パネル、ドレンアップメカ、ワイヤードリモコン	4	本部席
PAC-B	ビルマルチパッケージエアコン 室外機	冷暖切替 冷房能力 35.5kW 暖房能力 40.0kW 冷媒R407C 耐塩仕様 本体参考寸法：1290W×840D×1715H 重量：283kg	3φ-200V	冷房13.88kW 暖房13.0kW	9.25kW	0.35kW	防振架台	1	設置スペース
PAC-B1	ビルマルチパッケージエアコン 室内機	天井カセット1方向吹出 冷房能力 2.8kW 暖房能力 3.6kW 本体参考寸法：854W×395D×230H 重量：14kg パネル参考寸法：1000W×470D×30H 重量：3kg	1φ-200V	冷房0.037kW 暖房0.037kW		0.028kW	標準化粧パネル、ドレンアップメカ、ワイヤードリモコン	2	放送室
PAC-B2	ビルマルチパッケージエアコン 室内機	天井カセット1方向吹出 冷房能力 4.5kW 暖房能力 5.0kW 本体参考寸法：940W×610D×198H 重量：28kg パネル参考寸法：1190W×690D×10H 重量：5.5kg	1φ-200V	冷房0.09kW 暖房0.09kW		0.04kW	標準化粧パネル、ドレンアップメカ、ワイヤードリモコン	1	審判控室
PAC-B3	ビルマルチパッケージエアコン 室内機	天井カセット2方向吹出 冷房能力 4.5kW 暖房能力 5.0kW 本体参考寸法：1008W×606D×338H 重量：33.5kg パネル参考寸法：1300W×670D×8H 重量：8kg	1φ-200V	冷房0.16kW 暖房0.15kW		0.085kW	天井材組込パネル、ドレンアップメカ、ワイヤードリモコン	1	審判更衣室
PAC-B4	ビルマルチパッケージエアコン 室内機	天井カセット2方向吹出 冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.3kW 本体参考寸法：1008W×606D×338H 重量：33.5kg パネル参考寸法：1300W×670D×8H 重量：8kg	1φ-200V	冷房0.16kW 暖房0.15kW		0.085kW	天井材組込パネル、ドレンアップメカ、ワイヤードリモコン	3	会議室
PAC-B5	ビルマルチパッケージエアコン 室内機	天井カセット2方向吹出 冷房能力 7.1kW 暖房能力 8.0kW 本体参考寸法：1358W×606D×338H 重量：39kg パネル参考寸法：1650W×670D×8H 重量：10kg	1φ-200V	冷房0.19kW 暖房0.18kW		0.095kW	天井材組込パネル、ドレンアップメカ、ワイヤードリモコン 浸透膜式加湿器15A×8L/H×8W（バルブ、ストレーナ付）	2	事務室

[illegible]

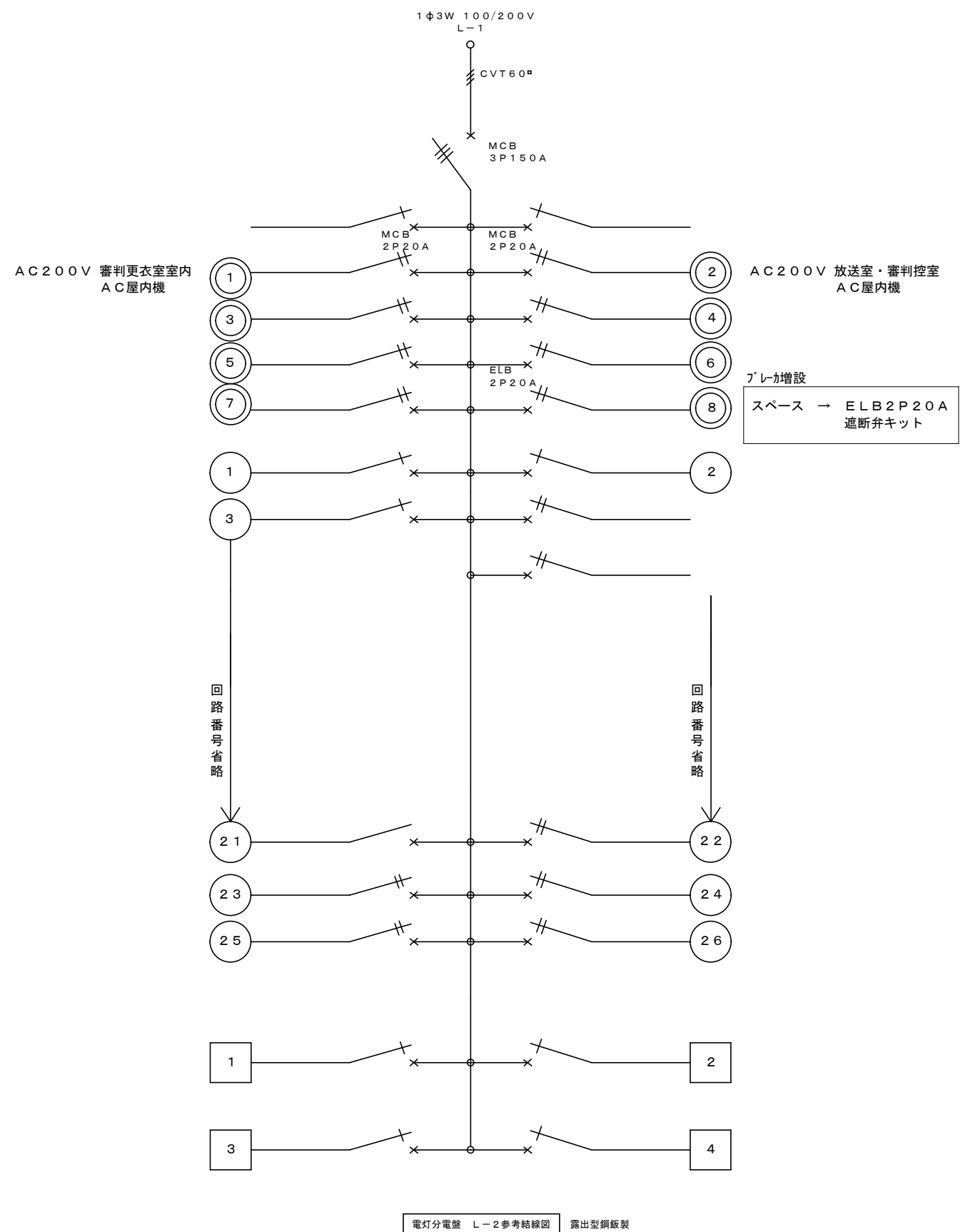
受電設備	1. 工事範囲	・ 変電部	・ 引下げ導線	・ 接地極埋設	
	2. 受電部	・ 変針	・ 機上導体	・ 笠木（別途）など	
	3. 避雷導線	・ 引下げ導線	・ 構造体利用		
	4. 接地極	※ 接地極埋設	・ 構造体利用（測定時期	回数）	
	5. 測定用補助接地極	・ 設置			
受電設備	1. 工事範囲	・ 機器類			
	2. 電気方式	・ 高圧 三相 3線式 6 kV 50 Hz ・ 低圧 三相 3線式 200 V ・ 低圧 単相 3線式 100 V/200 V			
	3. 引込ケーブル	・ EM-CET38 ⁺ ・ EM-CET60 ⁺ ・ EM-CE38 ⁻ -3C ・ EM-CE60 ⁻ -3C			
	4. 配電盤	・ 屋内形 ・ キュービクル式配電盤 ・ 高圧閉鎖配電盤			
	5. 主遮断装置	※ 隔室ヒューズ及び高圧遮断器（PFR-S） ・ 高圧交流遮断器（CB）			
	6. 高圧機器類	・ 油入式 ・ モールド ・ 手動 ・ 電動 ・ 電磁			
	7. 変圧器	・ 単相変圧器 kVA ・ 三相変圧器 kVA (油入式：JIS C4304-2013適合品 乾式：JIS C4306-2013適合品)			
	8. 連絡用コンデンサ	・ 低圧 ・ 高圧 ・ 油入式 ・ ガス式			
	9. リアクトル	・ 6% ・ 13% ・ 油入式 ・ モールド			
	10. 自動力率制御装置	・ メーターリレー形 ・ 静止形			
	11. 測定用補助接地極	・ 設置			
電力施設設備	1. 直流電源装置	※ 非常用照明器具電源、受電設備制御電源供用 ※ 蓄電池 ・ 鉛蓄電池（・ HS ・ CS ・ MSE ・ 長寿命形 MSE） ・ アルカリ蓄電池（・ AH ・ AMH） ・ リチウムイオン電池	・ 受電設備制御専用 ・ MSE ・ 長寿命形 MSE	・ 非常用照明器具専用	
	2. 交流無停電電源装置	※ 蓄電池 ・ 鉛蓄電池（・ HS ・ CS ・ MSE ・ 長寿命形 MSE） ・ アルカリ蓄電池（・ AH ・ AMH） ・ リチウムイオン蓄電池	・ 長寿命形 MSE		
発電設備	1. 工事範囲	・ 機器類			
	2. 形式	・ 簡易形 ・ キュービクル式 ・ オープン形 ・ 屋外形			
	3. 発電機	電気方式 相 線式 50 Hz 電圧 V 定格出力 kVA 運転時間 時間			
	4. 原動機	種類 ・ ディーゼル ・ ガスタービン 定格出力 kW以上（PS以上） 始動方式 ※ 電気式 ・ 空気式 冷却方式 ・ ラジエータ式 ・ 水循環式			
	5. 燃料	種類 ・ 軽油 ・ 灯油 ・ A重油 燃料小槽 L 主貯油槽 有 ・ 無し 太陽電池アレイ公称出力 kW パワーコンディショナ 相 線式 定格電圧 V 定格出力 kW 自立運転 ・ 有 ・ 無 蓄電池 ・ 有（定格容量 kWh） ・ 無			
	6. 太陽光発電装置				
	7. 系統連系	・ 有 ・ 無			
構内交換設備	1. 工事範囲	・ 交換機	・ 配線（・ 全部 ・ 端子壁以降）		
	2. 電話交換機	形式 局線 内線 機数 局線 内線	・ ボタン電話装置 ・ デジタルPBX ・ 1P-PBX ・ VoIPサーバ		
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM-TIEF0. 6S-SC（・ 20m） ・ EM-EBT0. 4-2P（・ 20m） ・ ワイヤプロテクタ（樹脂製 外形寸法約20×8）1. 5m			
	4. ローテーションアウトレット（電甲形）	※ 一般電装用 値（・ 納入する ・ 取り付ける） ※ 銅金合装 ・ アルミ製			
通信設備	1. 工事範囲及び施工方法	項目 配 工 事 範 囲 施 工 方 法 ・ 構内情報通信網 ・ 配線 合形成層管配線 金属管配線 ケーブル配線 ・ 情報表示 ・ ・ ・ ・ ・ ・ 映像・音響 ・ ・ ・ ・ ・ ・ 拡張支援 ・ ・ ・ ・ ・ ・ テレビ共同受信 ・ ・ ・ ・ ・ ・ テレビ電波障害防除設備 ・ ・ ・ ・ ・ ・ 監視カメラ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 駐車場監視設備 ・ ・ ・ ・ ・ ・ 防犯・入退室管理 ・ ・ ・ ・ ・			
	2. 構内情報通信設備	種類 ・ 10BASE-T ・ 100BASE-TX ・ 1000BASE-T ・ 10GBASE-SR			
	3. 情報表示設備	・ 時計計 回線（※ 壁掛け ・ 自立形） （・ 電子式サイヤム配線 ・ プログラムタイマ配線）			
	4. 映像・音響設備	・ 増幅器 W ・ VTR（・ VCD ・ BD） ・ プロジェクタ（※ 前面投射式 ・ 背面投射式） ・ 音響設備（・ CD ・ オーディオチューナー）			
	5. 拡声設備	○ 一般放送用 ・ 非常放送装置 増幅器 W（※ 卓上設置 ・ キャビネットラック形）			
	6. 誘導支援設備	・ インターホン ・ トイレ等呼出装置 ・ 音声誘導装置			
	7. テレビ共同受信設備	・ テレビアンテナ（・ AU ・ CSBSA ・ CSA） ・ 地上波アンテナmast（※ 壁面取付形 ・ 自立形） ・ BSアンテナmast（・ 壁面取付形 ・ 自立形） ・ 電界強度測定及び受信調査（※ 全チャンネル）			
	8. テレビ電波障害防除設備	・ 事前調査 ・ 機器類			
	9. 監視カメラ設備	・ 白黒方式 ※ カラー方式 伝送方式（・ アナログ ・ ネットワーク）			
	10. 駐車場管制設備	・ 管制盤 ・ 検知器（・ 光線式 ・ ループコイル式） ・ 信号灯・警報灯 ・ 発券機 ・ カード型 ・ カードリーダー			
	11. 防犯・入退室管理設備	・ 接地工事（※ 本工事 ・ 別途）			
火災設備	① 工事範囲	・ 配管 ・ 配線 ○ 機器類			
	2. 火災検知装置	・ 壁掛形 ・ 自立形 ・ 受信機 型 線 回線（アドレス） ・ 複合機 型 線 回線（火報 回線、自動閉鎖 回線、ガス漏れ 回線） ・ 防炎機 型 線 回線 ・ 機器収容箱 型 専用形（・ 埋込形 ・ 露出形） ・ 屋内消火栓箱に絡込み ○ 感知器類 型 用 形 数 値（・ 自動試験機能付）			
	3. 非常警報装置	・ 非常ベル（自動式サイレンを含む） ・ 非常放送装置			
	4. 自動閉鎖装置	・ 運動制御器 ・ 自動閉鎖装置（・ 防火戸用 ・ 防護ダンプ用 ・ 防火シャッター用） ・ 感知器			
	5. ガス漏れ火災警報装置	・ 受信機 回線（・ 都市ガス用 ・ 液化石油ガス用） ・ 検知器（・ 壁掛形 ・ 自立形） ・ 併設 ・ 連動 ・ 定格電圧（・ AC100V ・ DC24V） ・ ガス検知出力値（・ 有電圧出力方式 ・ 無電圧接点方式）			
	6. 消火器類	・ 消火器 種類 ・ 数量 本 ・ 消火器収納箱 仕様 ・ 材質 ・ 数量 面			

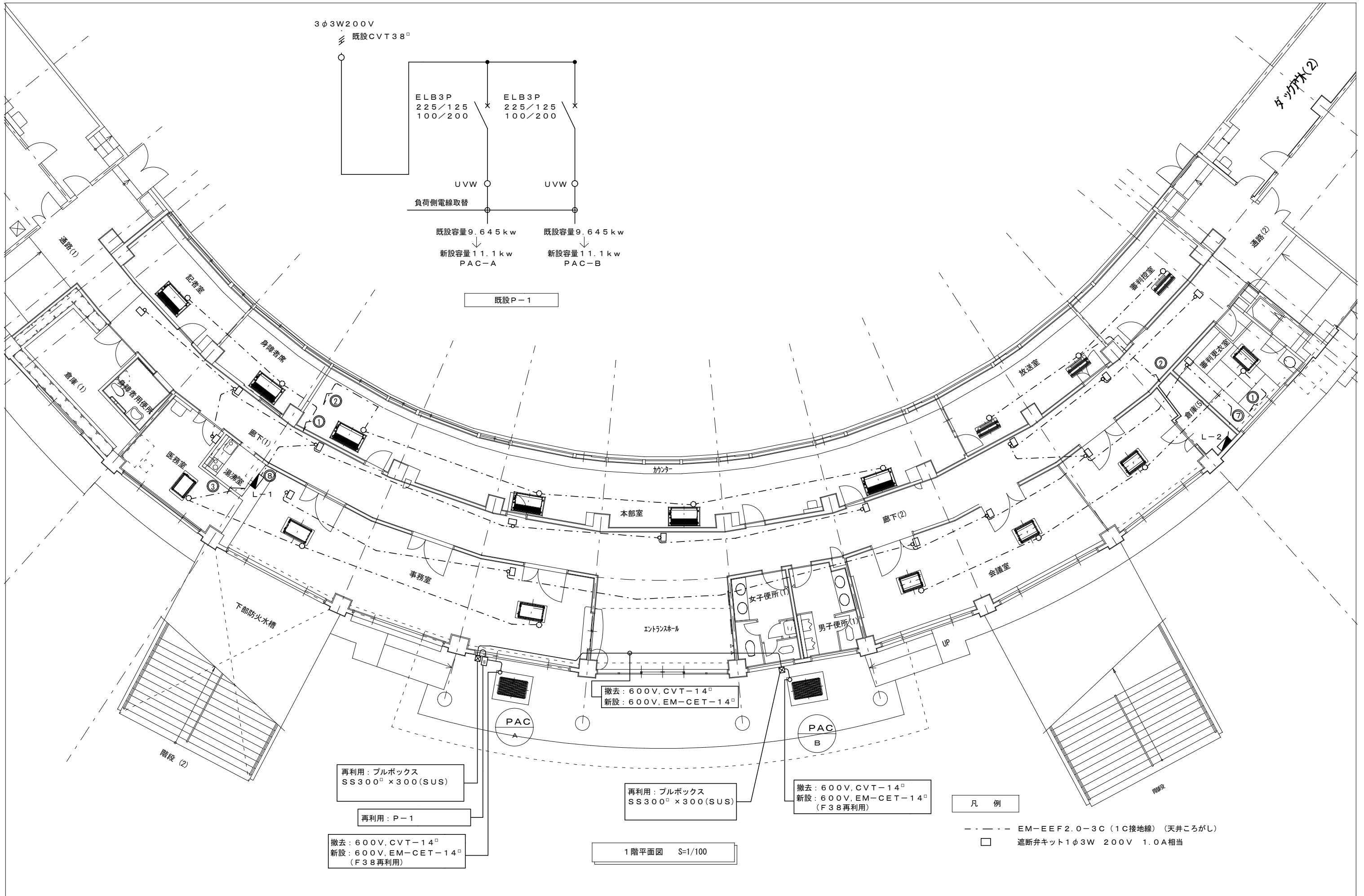
既設照明器具参考姿図

A 1	FL 4 0 × 2 埋込下面開放	B	FL 4 0 × 3 埋込ルーバ付	C	FL 4 0 × 2 埋込木柵パネル付	D	FL 2 0 × 1 埋込
A 2	FL 4 0 × 3 埋込下面開放						
							
E	FL 2 0 × 2 埋込ルーバー付	F	FPL 2 7 W × 2 埋込下面開放	G	JD 3 0 × 1 非常照明 BT内蔵	H	B級 避難口誘導灯両面型 × 1
							



		株式会社 信 栄 建 設	石 巻 市 建 設 部 建 築 課	工 事 名	セイホクパーク石巻市民球場空調設備改修工事			備 考		図面番号 E-3
		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第22X10153号		図 面 名	天井伏図 照明器具その他機器位置図	縮尺	S=1/100			
		管理建築士 白出正広 一級建築士 第200310号		設計年月日	令和7年8月					





		株式会社 信 栄 建 設	石 巻 市 建 設 部 建 築 課	工 事 名 セイホクパーク 石巻市民球場電気設備改修工事			備 考	図面番号 E-5
		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第22X10153号		図 面 名 天井伏図 照明器具その他機器位置図		縮尺 S=1/100		
		管理建築士 白出正広 一級建築士 第200310号		設計年月日 令和7年8月				

[illegible]

6

内装改修工事

19.

ビニル幅木

・防滑性床シート
種類（ ）
厚さ(mm)（ ）
・防滑性床タイル
種類（ ）
寸法(mm)（ ）×（ ）
厚さ(mm)（ ）

材質の種類
※軟質 ・硬質
高さ(mm)
※60 ・75 ・100
厚さ(mm)
※1.5以上 ・

<6.8.2>

20.

ゴム床タイル

種類
・単層品 ・積層品
色柄（ ）
厚さ(mm)
・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法(mm)（ ）×（ ）

<6.8.2>

21.

カーベツト敷き

・織じゅうたん
織り方 バイrl形状
・ウィルトンカーベツト ・カットバイrl
・ダブルフェースカーベツト ・ループバイrl
・アキスミンスターカーベツト ・カット/ループバイrl

<6.9.2、3><表6.9.1>
備考

色柄
※模様のない無地
・
バイrl糸の繊維種等
※無地の織りじゅうたんの種別（・A種 ・B種 ・C種）
・
帯電性
・適用する ・適用しない
織じゅうたんの接合方法
※ヒートボンド工法
・つづり縫い
下敷き材
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種1号 呼び厚さ 8mm

・タフテッドカーベツト
バイrl形状 バィrl長さ(mm) 工法 帯電性 備考
・カットバイrl ・5～7 ・※全面接着工法 ・適用
・ループバイrl ・4～6 ・ ・ケリッパ-工法 ・非適用
・カット、ループ併用・

下敷き材(グリッパ-工法の場合)
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第212号 呼び厚さ 8mm
タフテッドカーベツト用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

・タイルカーベツト
バイrlの形状 種類 施工箇所 寸法(mm) 総厚さ(mm) 備考
※ループバイrl ※第一種 ・第二種 ※500×500 ※6.5 ・
・カットバイrl ・第一種 ・第二種 ※500×500 ※6.5 ・
・カット・ループ併用 ・第一種 ・第二種 ※500×500 ※6.5 ・

タイルカーベツト用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
タイルカーベツトの敷き方
平場
※市松敷き
・模様流し
・
階段部分
※模様流し
・市松敷き
・
見切り、押え金物
材質（ ）
種類（ ）
形状等
※図示による ・

22.

合成樹脂塗床

種別 施工箇所 工法 仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床
・厚膜型塗床材 珪砂樹脂系塗床
・薄膜型塗床材

<6.10.2、3>
※平滑仕上げ
・防滑仕上げ
・つや消し仕上げ
・平滑仕上げ
・厚膜流しのペ工法
・防滑仕上げ
・樹脂混入工法
※平滑仕上げ

塗床材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

23.

フローリング張り

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等
※改修標準仕様書6.11.2(2)による
・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆
・単層フローリング （フローリングボード1等）
工法
・釘留め工法（・根太張り ・直張り）
・接着工法
樹種
※なら ・
・単層フローリング （フローリングブロック1等）
樹種
・厚さ(mm)
・大きさ
・複合フローリング
工法
・釘留め工法（・根太張り ・直張り）
・接着工法
樹種
※なら ・
種別
・A種 ・B種 ・C種
接着工法の場合の不陸緩和材
※合成樹脂発泡シート
・現場塗装仕上げ
※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地そのままワックス塗り

<6.11.2～6>

24.

畳敷き

種別
・A種 ・B種 ※C種 ・D種（畳床：・KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N）
下地の種類
・標準仕様書表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン）
・
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳（畳表：・C1 ・C2）

<6.12.2>

25.

せつこうボードその他のボード及び合板張り

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
合板のホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)～(d)のいずれか
・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
表面への化粧張り等の加工
※図示による ・

種類等	厚さ(mm)、規格等
木質系セメント板 ・木毛セメント板 ・硬質(HW)・中質(MW)・普通(NW)	※図示による ・15 ・20 ・25
・木片セメント板 ・硬質(HF)・普通(NF)	※図示による ・12 ・15 ・18 ・21 ・30
繊維強化セメント板 ①・けい酸カルシウム板(タイプ2) 普通ボード 0.8FK	※図示による ②・6 ・8
火山性ガラス質複層板 ・火山性ガラス質複層板 種類 ※図示による ・	※図示による ・
繊維板 ・ミディアムデンシティファイバーボード®(MDF)	※図示による ・3 ・7 ・9 ・12 ・
・ハードボード® ・スタンダードボード®（無処理） ・素地ハードボード® ・未研磨板(RN) ・研磨板(RS) ・内装用化粧ハードボード®(DI) ・テンハートボード®（処理） ・素地ハードボード® ・未研磨板(RN) ・研磨板(RS) ・外装用化粧ハードボード®(DE)	※図示による ・2.5 ・3.5 ・5 ・7 ・
・インシュレーションボード® ・A級インシュレーションボード®(A-IB) ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材	※図示による ・9 ・12 ・15 ・18

パーティクルボード®
・単板張りパーティクルボード®
・無研磨板(VN)
・研磨板(VS)
・化粧パーティクルボード®
・単板オーバーレイ(DV)
・プラスチックオーバーレイ(DO)
・塗装(DG) ※図示による ・10・12・15・18・ ※図示による ・10(難燃) ・12(難燃) ・ || 吸音材料 ・ロックウール化粧吸音板(DR) ③・フラットタイプ ・凹凸タイプ ・ロックウール吸音ボード®(1号) ・グラスウール吸音ボード®(32K) | ・9(不燃) ・12(不燃) ・12(不燃) ・15(不燃) ※図示による ・25 ・ ・25(ガラスウール包み) ・ |

26.

壁紙張り

せつこうボード®
・せっこうボード®(GB-R)
・シーシング®せっこうボード®(GB-S)
・強化せっこうボード®(GB-F)
・せっこうラミネート®(GB-L)
・不燃積層せっこうボード®(GB-NC)
④・化粧無し(下地張り用)
⑤・化粧有り(トラバ-チン模様) ※12.5(不燃)・15(不燃)・ ・12.5(・不燃・準不燃) ・12.5(不燃)・15(不燃) ・9.5 ・9.5(不燃) |

合板類
・普通合板
表板の樹種名：
板面品質：
防虫処理
・行う ・行わない
・天然木化粧合板
化粧板の樹種名：
防虫処理
・行う ・行わない
・特殊加工化粧合板
化粧加工の方法
・オーバーレイ ・プリント ・塗装
表面性能
・防虫処理
・行う ・行わない

天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合
※図示による ・
合板類の張付け
・A種 ・B種
せつこうボードの目地工法等
目地工法の種類
※仕上表による
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類
⑥・ベルエッジ ・スクエアエッジ
化粧加工の方法(・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・)

ホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

壁紙の種類
防火性能
備考

モルタル及びせっこうプaster一面の素地ごしらえの種類
※B種 ・A種
コンクリート面の素地ごしらえの種類
※B種 ・A種
せつこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種類
※B種 ・A種

モルタル
・現場調査材料
・既調合材料
既製目地材
・設ける
・設けない
床の目地
・設ける
目地割り
※2m程度（最大目地間隔3m程度）
・
目地の種類
※押し目地
・
・設けない
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理
・図示による ・

伸縮目地の位置
床タイル
※縦、横とも4m以内ごと
・図示による
・
床タイル以外
・図示による
・

伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による
見本焼き
・行う（施工箇所： ） ・行わない
試験張り
・行う（範囲、仕様等は図示による） ・行わない
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所形状/再生材料 吸水率 うわぐすり 役物 色 耐凍害性耐滑
種類寸法(mm)の適用 I 類 II 類 III 類 IV 類 ゆうゆう有 無 標準特注 有 無 り性

備考欄

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

27.

モルタル塗り

モルタル
・現場調査材料
・既調合材料
既製目地材
・設ける
・設けない
床の目地
・設ける
目地割り
※2m程度（最大目地間隔3m程度）
・
目地の種類
※押し目地
・
・設けない
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理
・図示による ・

<6.15.3、5、6>

28.

タイル張り

伸縮目地の位置
床タイル
※縦、横とも4m以内ごと
・図示による
・
床タイル以外
・図示による
・

<6.16.2～4>

29.

セリア®フローリング材塗り

壁内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所： ）
塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す
・図示による
・
既存錆止め塗料の鉛含有量調査
・行う（ 箇所）
・行わない
下地調整

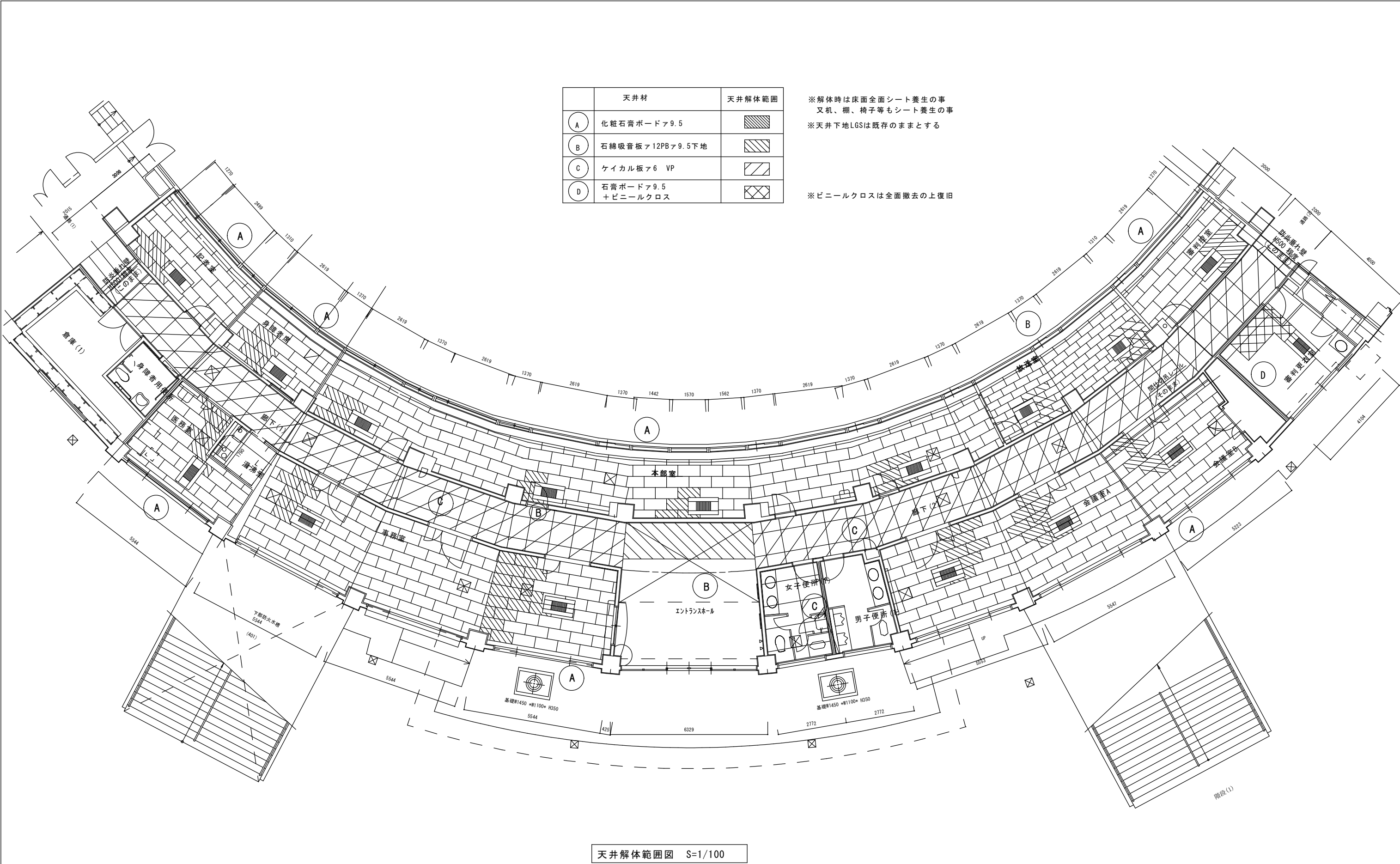
<7.1.3>
<7.2.1～7>

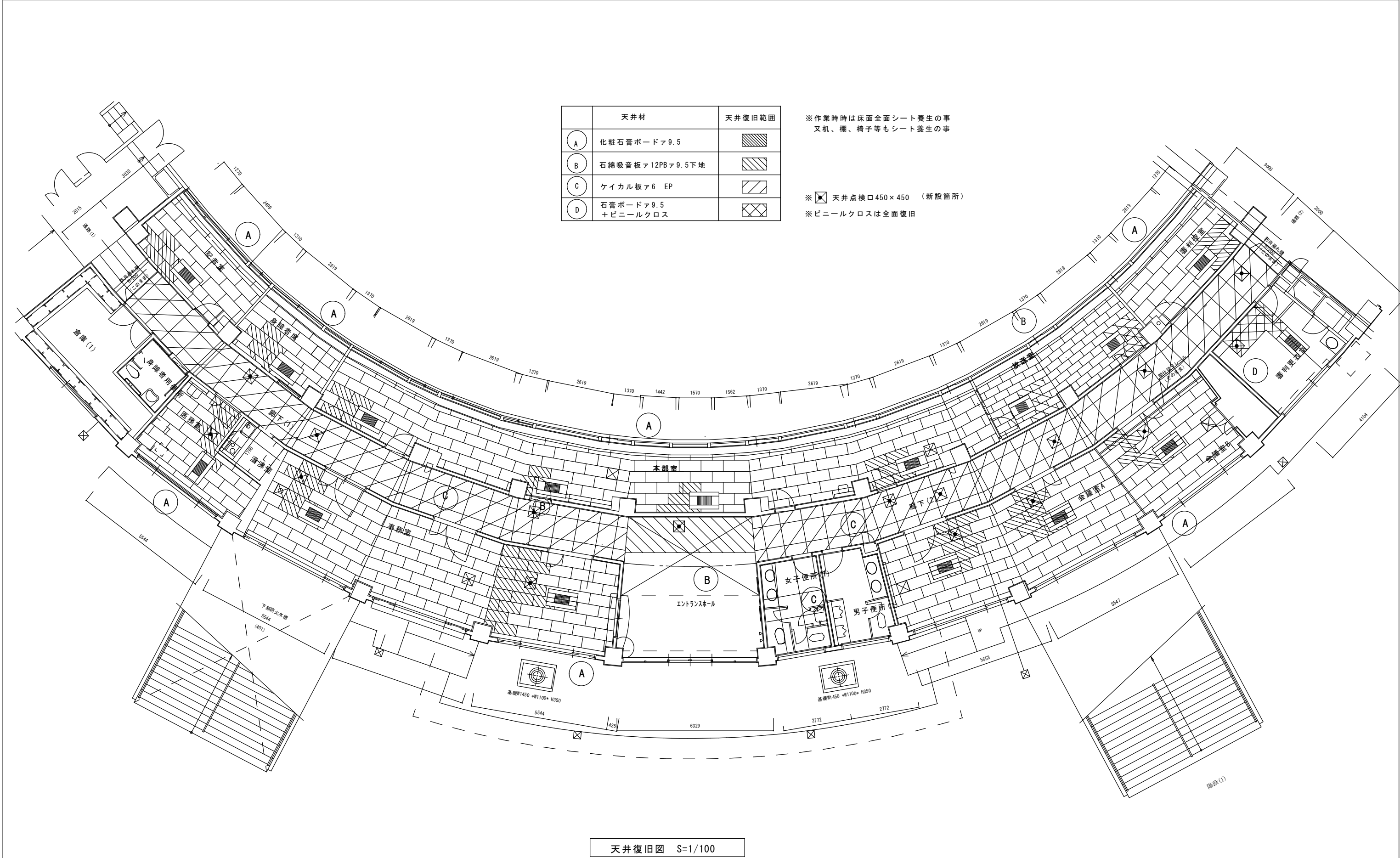
下地面の種類 下地調整の種類 び割れ部の補修
木部 ※不透明塗料塗りの場合はRB種
鉄鋼面 ※RB種
垂鉛めっき鋼面 ※RB種
垂鉛めっき鋼面 ※RB種
（鋼製建具等）
モルタル面及び
せつこうプaster一面
コンクリート面(DP以外)
ALCパネル面
押出成形セメント版面
コンクリート面(DP)
せつこうボード面及び
その他ボード面

<7.3.2～7>
下地面等 種類
木部 不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・B種
透明塗料塗りの場合 ※B種 ・A種
鉄鋼面(DP以外) ※C種 ・A種 ・B種
鉄鋼面(DP) ※B種 ・A種 ・C種
垂鉛めっき鋼面 ・A種 ・B種
モルタル面及びせつこうプaster一面 ※B種 ・A種
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面 ・A種 ・B種
押出成形セメント版面及びコンクリート面(DP) ・A種 ・B種
コン

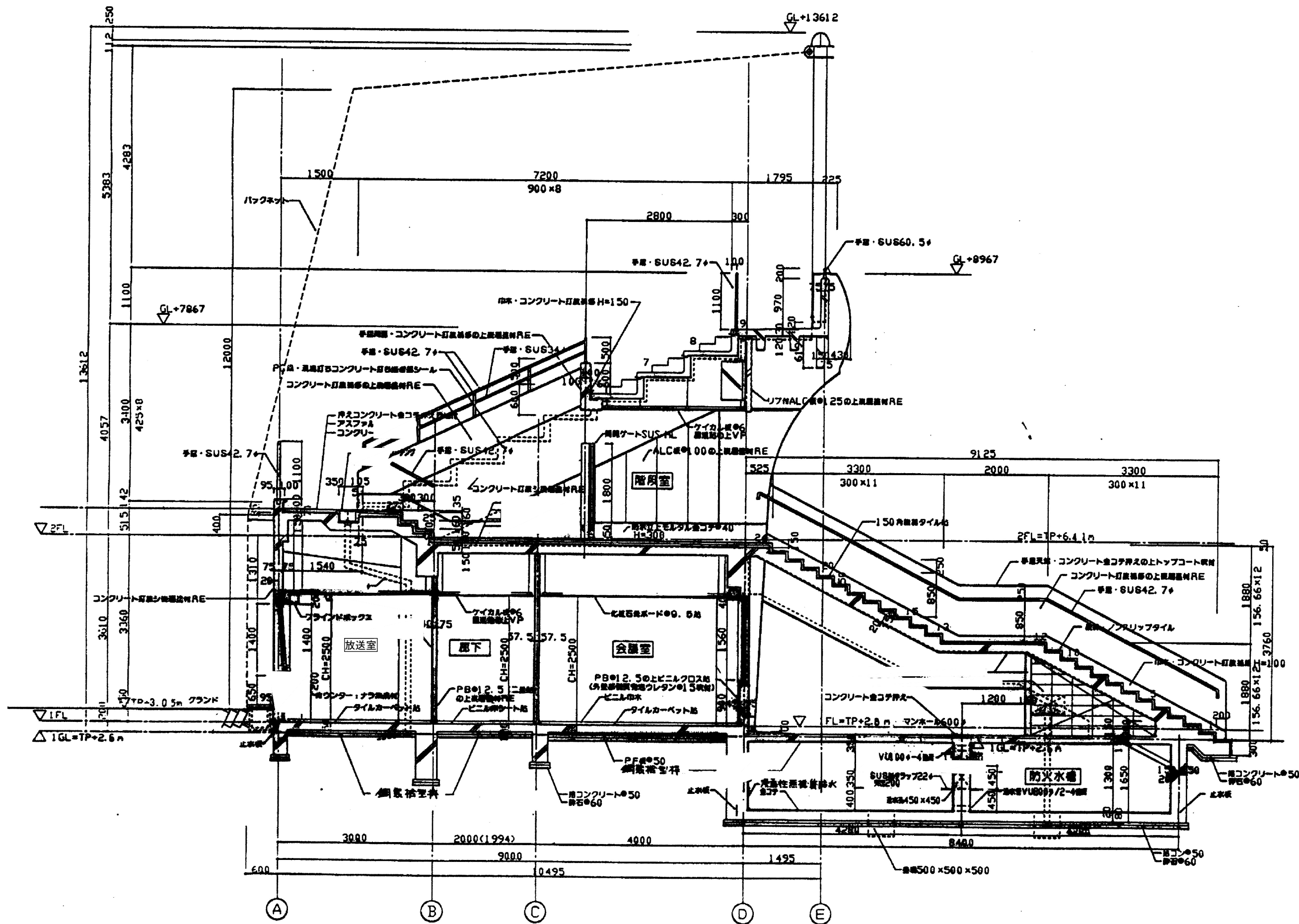
<div> <div>⑦</div> <div>塗装改修工事</div> </div>	<div> <div>⑤</div> <div>塗装</div> </div>	<div> <div> <div>塗装の種類</div> <div> <div>塗装面</div> <div> <div>工程</div> <div> <div>塗装替え</div> <div>新規</div> </div> </div> </div> <div> <div>・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)</div> <div>種類</div> <div>※1種・2種</div> </div> <div> <div>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)</div> <div>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)</div> </div> <div> <div>・クリヤラッカー塗り (GL)</div> </div> </div> </div> <div> <div> <div>・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)</div> </div> <div> <div>鉄鋼面</div> <div>上塗り等級 () 級</div> <div>亜鉛めっき鋼面</div> <div>上塗り等級 () 級</div> </div> <div> <div>・耐候性塗料塗り (DP)</div> <div>コンクリート面及び押出成形セメント板面</div> </div> <div> <div>・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)</div> <div>屋内の亜鉛めっき面</div> <div>・合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</div> <div>・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)</div> <div>・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</div> <div>・ステイン塗り</div> </div> <div> <div>・木材保護塗料塗り (WP)</div> </div> </div> <div> <div>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、鉄鋼面、せっこうボード面、せっこうボード面、その他ボード面) の塗替えの場合のしき止め</div> <div>※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしき止めシテとする</div> </div> <div> <div>合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしき止め</div> <div>※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしき止めシテとする</div> </div> <div> <div>クリヤラッカー塗り A 種の工程2の適用</div> <div>・適用しない</div> <div>・適用する (着色剤：・溶剤系着色剤・油性染料着色剤)</div> </div> <div> <div>ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用</div> <div>・適用する</div> <div>・適用しない</div> </div> <div> <div>オイルステイン塗りの工程等</div> </div>	<div> <div>1. 鉄筋</div> <div>鉄筋の種類等</div> <div> <div>種類の記号</div> <div>※SD295</div> <div>※SD345</div> </div> <div> <div>鉄線の形状等</div> <div> <div>種類</div> <div>種類の記号</div> <div>鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm)</div> <div>使用部位</div> </div> <div> <div>・溶接金網</div> <div>・鉄筋格子</div> </div> </div> <div> <div>鉄筋の継手の方法等</div> <div> <div>部 位</div> <div>継 手 方 法</div> <div>呼 び 径 (mm)</div> </div> <div> <div>柱、梁の主筋</div> <div>※ガス圧接</div> <div>・溶接継手</div> </div> <div> <div>耐力壁の鉄筋</div> <div>・重ね継手</div> </div> <div> <div>その他の鉄筋 ()</div> <div>・重ね継手</div> </div> </div> <div> <div>継手位置</div> <div>・図示による</div> </div> <div> <div>柱及び梁主筋の重ね継手の長さ</div> <div>・図示による</div> </div> <div> <div>耐力壁の重ね継手の長さ</div> <div>・図示による</div> </div> </div> <div> <div>4. 鉄筋の定着</div> <div>鉄筋の定着長さ</div> <div>・図示による</div> <div>機械式定着工法</div> <div>・適用する</div> <div>適用箇所</div> <div>・図示による ()</div> <div>種類</div> <div>・摩擦圧接接合</div> <div>・嵌合グラウト固定</div> <div>・螺合グラウト固定</div> <div>工法</div> <div>※第三者機関の評定等を取得している工法とする</div> <div>必要定着長さ</div> <div>※評定等の評価内容による</div> <div>補強筋形状</div> <div>※評定等の評価内容による</div> <div>かぶり厚さ</div> <div>※評定等の評価内容による</div> <div>品質確認</div> <div>※評定等の評価内容による</div> <div>検査</div> <div>※評定等の評価内容による</div> </div> <div> <div>5. 鉄筋のかぶり</div> <div>厚さ及び間隔 (溶接金網を含む)</div> <div>最小かぶり厚さ</div> <div>・図示による</div> <div>軽量コンクリートを適用する場合</div> <div>・あり</div> <div>適用箇所 ()</div> <div>・最小かぶり厚さに加える厚さ () mm</div> <div>耐久性上不利な箇所がある場合 (塩害を受けるおそれのある部分等)</div> <div>・あり</div> <div>適用箇所 ()</div> <div>・最小かぶり厚さに加える厚さ () mm</div> </div> <div> <div>6. 圧接完了後の試験</div> <div>超音波探傷試験</div> <div>※行う (全圧接部)</div> </div> <div> <div>7. 機械式継手</div> <div>適用箇所</div> <div>※図示による ()</div> <div>H12建告第1463号に適合する性能</div> <div>・A級</div> <div>種類</div> <div>・ねじ式鉄筋継手</div> <div>充填方式</div> <div>・無機グラウト方式</div> <div>・有機グラウト方式</div> <div>・端部ねじ加工継手</div> <div>・モルタル充填式継手</div> <div>工法</div> <div>※第三者機関の評定等を取得している工法とする</div> <div>鉄筋相互のあき</div> <div>※評定等の評価内容による</div> <div>品質の確認</div> <div>※評定等の評価内容による</div> <div>検査</div> <div>※評定等の評価内容による</div> <div>施工完了後の継手部の試験</div> <div>・外観試験</div> <div>試験対象</div> <div>※全数</div> <div>試験項目</div> <div>・評定等の評価内容による</div> <div>試験方法</div> <div>・評定等の評価内容による</div> <div>・超音波測定試験</div> <div>試験対象</div> <div>・抜取り</div> <div>ロット</div> <div>・1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度にする。</div> <div>試験の箇所数</div> <div>1ロットに対して () 箇所</div> <div>・全数</div> </div>	<div> <div>試験項目</div> <div>※挿入長さ</div> <div>試験方法</div> <div>※JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準) による</div> <div>不合格となった場合の措置</div> </div> <div> <div>8. 溶接継手</div> <div>適用箇所</div> <div>・図示による ()</div> <div>H12建告第1463号に適合する性能</div> <div>・A級</div> <div>溶接継手の工法</div> <div>・図示による ()</div> <div>施工完了後の継手部の試験</div> <div>・外観試験</div> <div>試験対象</div> <div>※全数</div> <div>試験項目</div> <div>・評定等の評価内容による</div> <div>試験方法</div> <div>・評定等の評価内容による</div> <div>・超音波探傷試験</div> <div>試験対象</div> <div>・抜取り</div> <div>ロット</div> <div>・1組の作業班が1日に行った溶接箇所、最大200箇所程度にする。</div> <div>試験の箇所数</div> <div>1ロットに対して () 箇所</div> <div>・全数</div> </div> <div> <div>9. 割裂補強筋</div> <div>形状</div> <div>・スパイラル筋</div> <div>種類の記号</div> <div>・SR235またはSWM-P</div> <div>呼び径、曲げ直径、ピッチ</div> <div>・図示による</div> </div> <div> <div>1. コンクリートの種類</div> <div>コンクリートの類別</div> <div>※Ⅰ類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)</div> <div>・Ⅱ類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)</div> <div> <div>・普通コンクリート</div> <div>設計基準強度 (N/mm²)</div> <div>スランブ (cm)</div> <div>気乾単位容積質量 (t/m³)</div> <div>適用箇所</div> </div> <div> <div>・24</div> <div>・</div> <div>・2.3程度</div> </div> <div> <div>・</div> <div>・</div> <div>・</div> </div> <div> <div>構造体強度補正值</div> <div>※改修標準仕様書表8.2.4による</div> </div> <div> <div>・軽量コンクリート</div> <div>設計基準強度 (N/mm²)</div> <div>スランブ (cm)</div> <div>気乾単位容積質量 (t/m³)</div> <div>種類</div> <div>適用箇所</div> </div> <div> <div>・</div> <div>※21</div> <div>・</div> <div>・1種・2種</div> </div> <div> <div>・</div> <div>・</div> <div>・</div> </div> <div> <div>構造体強度補正值</div> <div>※改修標準仕様書表8.2.4による</div> </div> <div> <div>3. セメント</div> <div>種類</div> <div>※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 (普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された) 規定の他、水和熱が7日目で352 J / g 以下、かつ28日目で402 J / g 以下のものとする)</div> <div>適用箇所 ()</div> <div>・高炉セメントB種</div> <div>適用箇所 ()</div> <div>・フライアッシュセメントB種</div> <div>適用箇所 ()</div> </div> <div> <div>4. 骨材</div> <div>アルカリシリカ反応性による区分</div> <div>※A</div> <div>・B</div> </div> <div> <div>5. 混和材料</div> <div>・混和剤</div> <div>混和剤の種類</div> <div>※改修標準仕様書 8.2.5 (4) (a) による</div> <div>・混和材</div> <div>混和材の種類</div> <div>※改修標準仕様書 8.2.5 (4) (b) による</div> </div> <div> <div>6. 構造体用モルタル</div> <div>構造体用モルタル</div> <div>圧縮強度 ()</div> <div>フロー値 ()</div> </div> </div>	<div> <div>7. 暑中コンクリート</div> <div>構造体強度補正值</div> <div>※6N/mm²</div> </div> <div> <div>8. マスコンクリート</div> <div>適用箇所</div> <div>・図示による ()</div> <div>セメントの種類</div> <div>・普通ポルトランドセメント</div> <div>・中庸熟ポルトランドセメント</div> <div>・低熟ポルトランドセメント</div> <div>・高炉セメントB種</div> <div>・フライアッシュセメントB種</div> <div>・シリカセメント</div> <div>混和材料</div> <div>・混和剤</div> <div>混和剤の種類</div> <div>※標準仕様書6.13.2 (2) (7) による</div> <div>・混和材</div> <div>混和材の種類</div> <div>※標準仕様書6.13.2 (2) (4) による</div> </div> <div> <div>9. 無筋コンクリート</div> <div>スランブ</div> <div>※15cm</div> <div>構造体強度補正值</div> <div>※標準仕様書表6.13.1による</div> <div>コンクリートの種類</div> <div>※普通コンクリート</div> <div>設計基準強度</div> <div>※18N/mm²</div> <div>スランブ</div> <div>※15cm又は18cm</div> <div>セメントの種類</div> <div>※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種</div> <div>・高炉セメントB種</div> <div>・フライアッシュセメントB種</div> <div>適用箇所</div> <div>・図示による ()</div> </div> <div> <div>10. 流動化コンクリート</div> <div>適用箇所</div> <div>・図示による ()</div> </div> <div> <div>11. 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地</div> <div>打継ぎの位置</div> <div>・図示による ()</div> <div>目地寸法</div> <div>・標準仕様書 9.7.3 (1) (7) による</div> <div>・図示による ()</div> <div>ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法</div> <div></div></div>
---	---	--	---	---	--

内部仕上表													
階	室 名	床	巾木	壁	柱 型		天井		梁 型		天井高	廻り縁	備考
		既 設	既 設	既 設	下 地	既 存	既 存	下 地	既 存				
1	エントランスホール	300角、100角磁器タイル パターン単色貼	SUS HL H=100	50角磁器モザイクタイル パターン単色貼、50角磁器タイル貼	C,LGS	―――	岩綿吸音板φ12.0貼 上り天井部、PB φ9.5の上ビニールクロス貼	LGS	―――	2,500 ～ 4,600		受付カウンター、タイル見切：SUS HL角棒φ5、天井廻縁：アルミ製 天井見切：SUS HL角棒φ10、掲示板、案内板	
1	事務室	コンクリート金ゴテの上ビニル床シート貼	ビニル巾木 H=60	PBφ12.5の上ビニルクロス貼	C,LGS	壁に同じ	化粧石膏ボードφ9.5貼	LGS	―――	2,500		受付カウンター、ブラインドボックス	
1	湯沸室	同上	同 上	同 上	LGS	壁に同じ	同 上	LGS	―――	2,300		吊戸棚、流し台、ライニング、踏台	
1	会議室	コンクリート金ゴテの上タイルカーペット貼	同 上	同 上	C,LGS	壁に同じ	同 上	LGS	―――	2,500		ブラインドボックス、可動間仕切、黒板、掲示板	
1	医務室	コンクリート金ゴテの上 ビニル床シート貼	同 上	同 上	C,LGS	壁に同じ	同 上	LGS	―――	2,500		吊カーテン、ライニング、踏台 ブラインドボックス	
1	選手更衣室 洋室 選手更衣室 和室	ポリスチレンフォームφ80の上木質系材φ15貼 ポリスチレンフォームφ40の上スタイロ畳 φ40敷	同 上 ｸﾞﾗｽ寄せ	同 上	C,LGS	壁に同じ	化粧石膏ボードφ9.5(木目調)貼	LGS	―――	2,400		洗濯カウンター、シャワーユニット、化粧鏡、 上り框、付欄干、ブラインドボックス	
1	選手更衣室 脱衣室	ポリスチレンフォームφ80+合板φ12の上 ビニル床シート貼	ビニル巾木 H=60	PBφ12.5の上ビニルクロス貼	LGS	壁に同じ	PBφ9.5の上ビニルクロス貼	LGS	―――	2,400		脱衣室、壁点検φ300 ＊H450	
1	更衣室（1）（2）	コンクリート金ゴテ押え目地切、 一部ゴムマット敷（取替可能）	コンクリート打放し目地別れ H=100	コンクリート打放し補修、モルタル金コテ 及びPBの上複層仕上塗材RE	C,LGS	壁に同じ	ケイカル板φ6.0目透貼の上 VP	LGS	―――	2,500		ブラインドボックス	
1	選手便所（1）（2）	塗布防水の上50角モザイク タイル貼	―――	100角磁器タイル張り	C,LGS	―――	同 上	LGS	―――	2,400		洗面カウンター、トイレブース、ライニング、踏台 、化粧鏡、配管ﾋﾞｯﾄ、差場	
1	選手シャワー室 （1）（2）	同上	―――	同 上	C,LGS	壁に同じ	プラスチック黒天井板（リブ付）	LGS	―――	2,400		シャワーブース、カーテンレール（φ） シャワーカーテン、棚、配管ﾋﾞｯﾄ、差場	
1	審判控室	コンクリート金ゴテの上ビニル床シート貼	ビニル巾木 H=60	PBφ12.5の上ビニルクロス貼	C,LGS	壁に同じ	化粧石膏ボードφ9.5貼	LGS	―――	2,500		ブラインドボックス、カウンター	
1	放送室	コンクリート金ゴテの上タイルカーペット貼	ビニル巾木 H=60	有孔PBφ12.5の上VP （LGS部グラスウールφ50充填）	C,LGS	壁に同じ	岩綿吸音板φ12.0貼 グラスウールφ50敷込	LGS	―――	2,500		ブラインドボックス、カウンター	
1	本部室	コンクリート金ゴテの上ビニル床シート貼	同 上	PBφ12.5の上ビニルクロス貼	C,LGS	壁に同じ	化粧石膏ボードφ9.5貼	LGS	―――	2,500		ブラインドボックス、カウンター、ライニング 、化粧鏡	
1	身障者室	同上	同 上	同 上	C,LGS	壁に同じ	同 上	LGS	―――	2,500		ブラインドボックス、カウンター	
1	記者室	同上	同 上	同 上	C,LGS	壁に同じ	同 上	LGS	―――	2,500		ブラインドボックス、カウンター	
1	ダックアウト （1）（2）	コンクリート金ゴテの上 ゴムマット敷 （取替可能）	コンクリート打放し目地別れ H=100	コンクリート打放し補修の上 複層仕上塗材RE	C	壁に同じ	コンクリート打放し補修の上複層仕上塗材RE		天井に同じ	――		防球フェンス、ベンチ、ライニング、踏台 化粧鏡、バットケース	
1	倉庫（1）	コンクリート金ゴテの上目地切	―――	コンクリート打放し補修及び PBφ12.5 二重貼り	C,CB	壁に同じ	化粧石膏ボードφ9.5貼	LGS	―――	2,500		木製棚5段	
1	倉庫（2）（3）	同上	―――	コンクリート打放し補修	C	壁に同じ	コンクリート打放し素地		天井に同じ	――		木製棚2段	
1	倉庫（4）	同上	―――	コンクリート打放し補修及び CB化粧積	C,CB	―――	同 上		天井に同じ	――			
1	倉庫（5）	コンクリート金ゴテの上ビニル床シート貼	ビニル巾木 H=60	PBφ12.5の上ビニルクロス貼	C,LGS	壁に同じ	化粧石膏ボードφ9.5貼	LGS	―――	2,500			
1	砂置場	コンクリート金ゴテの上目地切	―――	コンクリート打放し補修及び CB化粧積	C,CB	壁に同じ	コンクリート打放し素地		天井に同じ	――			
1	男子便所（1）	塗布防水の上50角モザイク タイル貼	―――	100角磁器タイル張り	C,LGS	壁に同じ	ケイカル板φ6.0目透貼の上 VP	LGS	―――	2,400		洗面カウンター、トイレブース、ライニング、 踏台、床下点検口、防球化粧台、配管ﾋﾞｯﾄ 差場	
1	女子便所（1）	同上	―――	同 上	C,LGS	壁に同じ	同 上	LGS	―――	2,400		洗面カウンター、トイレブース、床下点検口、 防球化粧台、配管ﾋﾞｯﾄ、差場	
1	身障者用便所	コンクリート金ゴテの上ビニル床シート貼	立上げ巾木 H=100 天こばシリコーンシーリング	PBφ12.5の上ビニルクロス貼	LGS	―――	化粧石膏ボードφ9.5貼	LGS	―――	2,400		床下点検口、化粧鏡（防湿φ500 ＊H1000） 配管ﾋﾞｯﾄ、差場	
1	男子便所（2）（3）	塗布防水の上50角モザイク タイル貼	―――	100角磁器タイル張り	C,LGS	―――	ケイカル板φ6.0目透貼の上 VP	LGS	―――	2,500		洗面カウンター、トイレブース、ライニング、踏台、 化粧鏡、配管ﾋﾞｯﾄ、差場、差	
1	女子便所（2）（3）	同上	―――	同 上	C,CB LGS	壁に同じ	同 上	LGS	コンクリート補修 の上VP	2,500		洗面カウンター、トイレブース、床下点検口 防湿化粧台 、配管ﾋﾞｯﾄ、差場	
1	廊下（1）（2）	コンクリート金ゴテの上ビニル床シート貼	ビニル巾木 H=60	コンクリート打放し補修、モルタル 金コテ及びPBの上複層仕上塗材RE	C,LGS	―――	同 上	LGS	―――	2,500		床見切：SUS HL角棒φ5	
1	通路（1）（2）	コンクリート金ゴテの上目地切 、一部ゴムマット敷（取替可能）	コンクリート打放し目地別れ H=100	コンクリート打放し補修、モルタル 金コテ及びPBの上複層仕上塗材RE	C,CB LGS	―――</							

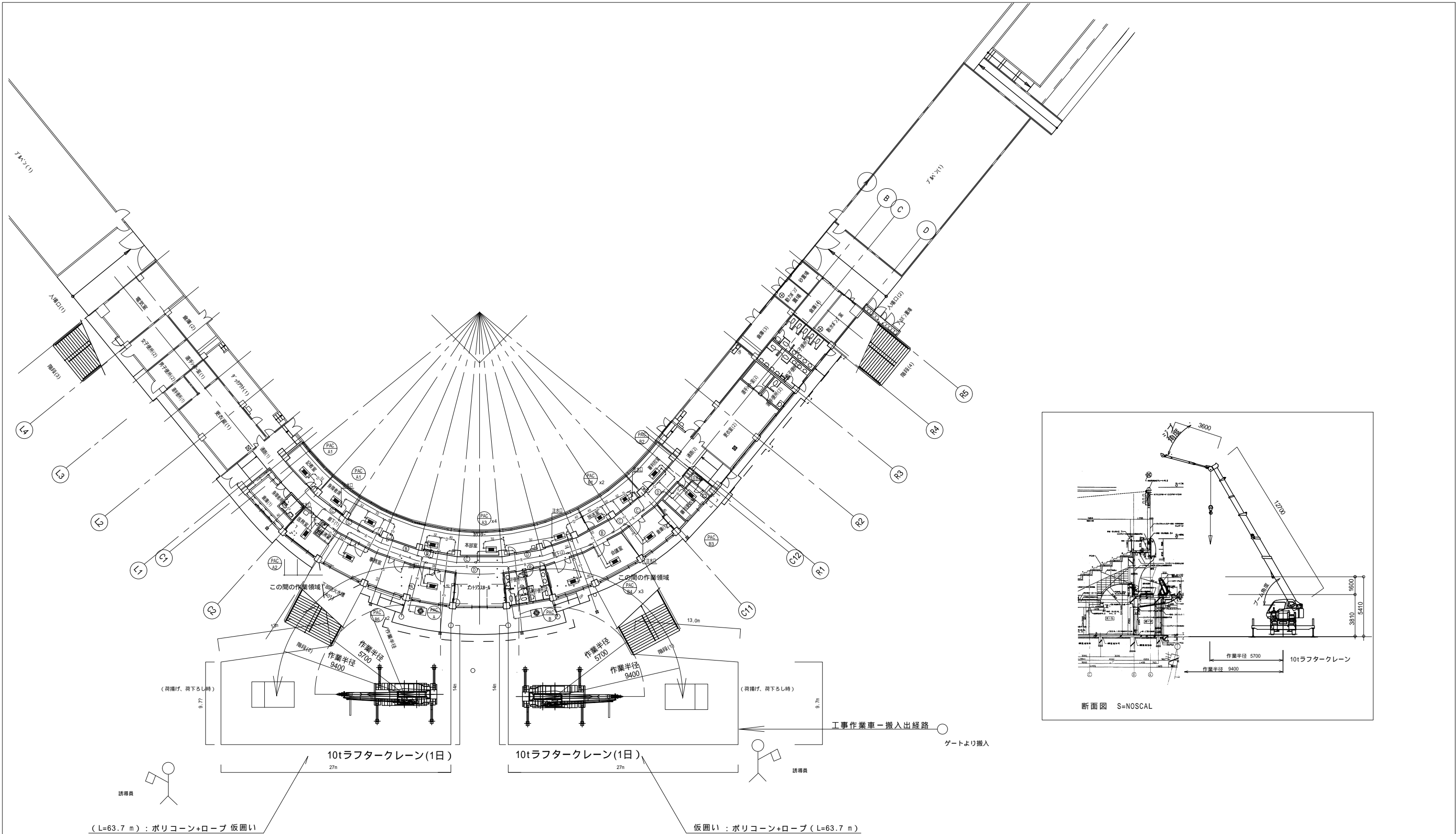




天井復旧図 S=1/100



		株式会社 信 栄 建 設	石 巻 市 建 設 部 建 築 課	工 事 名	セイホクパーク石巻市民球場空調設備改修工事			備 考	図面番号
		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第22X10153号		図 面 名	矩形図（参考図）	縮尺	—		
		管理建築士 白出正広 一級建築士 第200310号		設計年月日	令和7年8月				



仮設計画図 S=1/300

		株式会社 信 栄 建 設	石 巻 市 建 設 部 建 築 課	工 事 名	セイホクパーク石巻市民球場空調設備改修工事			備 考		図面番号 A-10
		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第 2 2 X 1 0 1 5 3 号		図 面 名	仮設計画図	縮尺	S=1/300			
		管理建築士 白出正広 一級建築士 第 2 0 0 3 1 0 号		設計年月日	令和7年8月					